

地域の伝統行事 みんなで団子さし

小正月（1/15）に、みず木に上新粉で練って丸めた団子を刺し、豊作を祈願するという伝統行事を体験しました。前日には戸村さん、見越さん、清水さんが、山からみず木を切って、図書室に設置してくださいました。当日は、「いきいきサロン」や保護者の方々も集まってくださり、みんなで色とりどりの団子を作ってみず木に刺し、その後はできたてのきなこ餅をお腹いっぱい食べました。今年もみんな元気でたくさんのお米や野菜が収穫できますように！



神秘的な朝の風景

1/26の朝は、前日に降った雨が上がって快晴となりました。西中付近までは晴れていたのに、学校に近づくにつれ霧がかかってきて・・・これが噂の「雲海」か？と思いながら学校を過ぎ榎野地方面へ。峠から学校方面を見下ろしてみると、まさに絶景！雲海の中心にさはら小学校がありました！子供たちにもこの絶景を見せ、自分たちの住んでいる佐原地区の素晴らしさを伝えました。



自分の命を自分で守る 避難訓練

1月1日に発生した能登半島地震では、1か月以上たった今でも避難所生活の方や行方不明の方がいらっしゃる状況です。私たちも、いつ、どこで、どんな災害に遭遇するか誰にも予測できません。学校では、1/16に火災想定、2/8に校内に不審者が侵入したことを想定した避難訓練を実施しました。本校は警察署や消防署から遠いため、救助を要請しつつ自分に判断し、行動できるかが重要となります。避難訓練のポイントは、

- <職員>
 - 子供たちの安全確保（避難経路・避難態勢）
 - 通報・各教室・児童への的確な指示
 - <児童>
 - 周りの状況を自分の目で確認する。
 - 静かにして指示を待ち落ち着いて行動する。
- ※どんなに訓練を重ねても、本当の災害の時は慌てるものです。何度も繰り返して訓練しておくことで記憶に残り、いざというときに適切に行動が取れるよう、今後も訓練を継続していきます。



「楽しい」から始まる学び

1/26、水戸ホーリーホックから2人のコーチをお呼びしてサッカー教室を実施しました。体力も運動能力も違う1年生から6年生ですが、前半は楽しく走りながら体を慣らすことからスタートし、徐々にボールを使ってペア・グループ・チームでのプレーへと進んでいきました。「今のいいね～」「先を読んでそこに動いたんだね～」「うまい！」等々、【よかったことをその場で褒める】【何がよかったのか具体的に言葉にする】等、我々教師以上に「相手への伝え方」が上手でした。子供たちはあっという間にコーチ達の言葉の魔法にかかり、「笑顔」「積極的に動く」「友達を褒める・アドバイスする」姿に変身しました。改めて「言葉の大切さ」を感じた時間でした。

